

## 奥穂初登頂記

5月2~5日 メンバー: 森田先生と学生の吉田

今年のゴールデンウィークは掛け値なしの3連休なのでどこか雪のある山へ行こう、とM氏から誘われた。彼ほでまれば北アルプスが良いと言う。僕は上高地近辺に足を踏み入れたことがないので、その辺りへ...という訳で思いきり奥穂へでも行ってみようということに決まった。人の数は多いだろうから、その方が安全だし(事故にあう確率も高い訳だが)5月は南-中央-北-南という過去の実績? からいっても北が妥当なのだ!

5月2日 8:00 pm 北コンコースへ。「ちくま」の行列は、と見ると何んと中央コンコース。しかも二重三重の長蛇の列で松本まで立ちんぼうを覚悟したが大明神様の靈験で指定がとれたので勇躍列を離れて乗り込んだ。座席にはありついたものの結局眠れず、睡眠不足で危うくピッケルを忘れるところだった。

さて3日、初めて上高地に足を踏み入れる。予想通り大量の雪で夏道はトレースはあるもののずらと雪の上を明神~徳沢~横尾、と大勢の登山者とぬきつ、ぬかれつ、ぬかれつ...で涸沢をめざす。天気は昼頃晴れ間が見えていたりしたのに、横尾本谷付近から雨となり、涸沢小屋についた時にはずぶぬれになってしまった。おまけにカサをまでも忘れてきてしまったので休むこともできずバテバテになってしまった。

4日は朝から晴れ。快晴とはいかないが晴れである。予定の北穂~涸沢槍コースは指導員の言に従いあきらめて直接、白出コルに向う。コース上はそれこそアリの行列の如く登山者がびしめいている。我々は9:00頃出発。途中、日がさしてきて真夏を思わせながら3時頃でなんとなくコルへ。時間が×4ヤフチャ余って、こんなことなら北穂から行くんだったか、と思ったが気を取り直して涸沢岳へ。これも一応3100m、槍がめと見えた。北穂~涸沢岳の稜線はさすがに人が少ない。北穂へ登っていた人の数は、白出コルへ登ってきた人の数とさほど変わらなかったように思えたのだが。

5日、風強し、快晴。10:00穂高岳山荘出発。涸沢をみるとテオ村が  
いつのまにか消えている。人の殆んどいない稜線を奥穂へ、約30分で到着。  
すばらしい展望だ。ハツ～南～中央～白山…と、日本の3000m峰は  
すべて見えているのではないだろうか。写真をばっちりとり、さて後は  
下るのみ…と思ったら夏と違い意思に反して前穂に登らされた。  
更に奥明神沢をまたかさまに下って岳沢へ。あとはこぼれるようにバス停へ  
下り度バスに間にあって、大阪へついたら23:10。超駈足山行だったが  
これも北アルプスならでは。

ジャンダルムと白山 →

槍をバックに ↓



例の河童橋にて ↓

